

イブニングセッション

2026年6月20日(土) 18:00 ~ 19:00 | 第2会場 (ウインクあいち 6F 展示場604+605)

イブニングセッション6 義歯洗浄・清掃のエビデンスと現在地 ―材料多様化時代における義歯ケアを再考する―

コーディネーター：原田 佳枝（長崎大）

[ES6-3] 義歯洗浄・清掃のエビデンスと現在地 ―材料多様化時代における義歯ケアを再考する―

*原田 佳枝¹、*堀之内 玲耶²、*竜 正大³、*藤本 けい子⁴ (1. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科補綴学分野、2. 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴学分野、3. 東京歯科大学 老年歯科補綴学講座、4. 徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野)

キーワード：義歯の洗浄・清掃、材料特性、汚染評価

本講演では、義歯洗浄・清掃の基本的考え方を概観し、一般的な義歯の洗浄・清掃に加えて、修理義歯・硬質リライン義歯およびインプラントオーバーデンチャー（IOD）アバットメントにおける清掃管理上の課題を取り上げます。義歯洗浄・清掃の主な目的はデンチャープラークの除去であり、歯石様沈着物や着色の除去や、*Candida*をはじめとする微生物の制御にも重要な役割を担っています。適切に義歯の洗浄・清掃が行われることで、義歯性口内炎やカンジダ症の予防にとどまらず、誤嚥性肺炎のリスク低減、義歯が長持ちすることに加え、口臭予防や義歯の快適な装着感の維持を通じてQOL向上にも寄与します。デンチャープラークや微生物の制御には、機械的清掃と化学的清掃の併用が重要であり、義歯の材質や表面性状、使用環境に応じて方法や洗浄剤・器具を適切に選択することが求められます。

また、修理義歯と硬質リライン義歯では、義歯修理に用いる即時重合レジンや硬質リライン材は、加熱重合レジンとは異なる特性を有し、義歯洗浄剤への浸漬により表面粗さや材料物性の変化が生じうることが報告されています。これらの知見を踏まえた洗浄・清掃上の留意点について触れ、さらに、IODに用いられるアバットメントの維持力が義歯洗浄剤の種類や洗浄条件等によって異なる影響を受けることに関する最新の知見を紹介し、義歯本体のみならず、アタッチメント等の関連装置を含めた包括的なケアの視点を提示します。